

項目	新たな森づくりの推進体制の整備	NO	3-1
----	-----------------	----	-----

事業名	やまがた緑県民会議		
事業費	978 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

やまがた緑環境税を活用する施策を適正かつ効果的に進めるため、次の業務を担う外部委員の第三者機関として設置。

- ① やまがた緑環境税を活用した事業の効果の評価、検証
- ② 新たな森づくりに関する施策の見直し
- ③ 公募事業等の採択における審査
- ④ 新たな森づくりの普及啓発の推進 など

2 事業概要

■やまがた緑県民会議の開催（4回開催）

（第1回：6月10日、第2回：11月12日、第3回：2月9日、第4回：3月20日）

2 第1回：6月10日

- ・平成25年度税活用事業の実績
- ・平成26年度税活用事業の計画
- ・現地調査（最上管内の森林整備及び公募事業実施状況）

第2回：11月12日

- ・平成26年度税活用事業の取組状況
- ・平成27年度税活用事業の考え方
- ・現地調査（村山管内の森林整備及び公募・交付金事業実施状況）

第3回：2月9日

- ・平成27年度税活用事業の考え方（森林整備事業の追加）

第4回：3月20日

- ・平成26年度税活用事業の評価検証 ・平成27年度税活用事業の概要
- ・平成27年度公募事業の審査 ・平成27年度森林整備事業の実施計画

3 成果と課題

【成果】

- ・やまがた緑県民会議による税事業の評価・検証により、透明性の高い事業執行がなされている。

【課題・対応】

- ・引き続き、税事業に係る評価検証の内容の透明性を確保していくうえで、ホームページ上で情報公開していくほか、事業効果や目標の達成状況などについて、多様な広報媒体を通じて情報発信し、県民の理解向上を図っていく。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成26年度やまがた緑県民会議の取組事例】

第1回県民会議（金山町町民ホール・現地調査 6月10日）



会議状況



現地視察
（遊学の森 全国育樹祭開催会場）



現地視察
（金山町金山 長期育成林）

第2回県民会議（尾花沢市役所会議室・現地調査 11月12日）



会議状況



現地視察
（尾花沢市寺内 里山林）



現地視察
（尾花沢市横長根山 絆の森）

第3回県民会議（県庁会議室 2月9日）



会議状況

第4回県民会議（県庁会議室 3月20日）



会議状況

項 目	新たな森づくりの推進体制の整備	NO	3-2
事業名	新たな森づくりの普及啓発事業		
事業費	6,554 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

- ① 新たな森づくりに関する普及啓発の実施
新たな森づくりに対する県民の意識の醸成を図る。
- ② 森の感謝祭等啓発行事の開催
新たな森づくりに対する県民の意識の醸成を図る。

2 事業概要

- ① 新たな森づくりに関する普及啓発の実施
 - ・ 森づくりリレーの実施（6月～）
 - ・ シンボルマーク焼印入りコースター、間伐材製品の作製・配布（授産施設にて製作）4,000個
 - ・ 県広報媒体を活用した広報・周知
（YBC「やまがたサンデー5」（6/22、8/17）、「森林やまがた」）
 - ・ 山形県林業まつりでのPR（10/25-26）
 - ・ やまがた環境展でのPR（10/25-10/26）
 - ・ 県庁ロビーでの展示・PR
 - ・ 県内大型ショッピングモール等での展示・PR
 - ・ 広報誌「もりしあ」の発行・配布（B5判 年2回、10,000部/回）
 - ・ 「みんなが森の応援団！」の登録・森づくり情報のメルマガ配信
 - ・ 各県民の森での常設パネル展示を実施
 - ・ 「木製プレート」の掲示によるやまがた緑環境税の普及啓発（新規）
- ② 森の感謝祭等啓発行事の開催（全5箇所で開催）
 - ・ 「やまがた森の感謝祭2014」の開催（6/7 飯豊町 山形県源流の森）
 - ・ 地区感謝祭の開催
最上地域森の感謝祭（7/13 新庄市）
村山地域森の感謝祭（9/27 東根市）
庄内森とみどりのフェスティバル（10/18～19 鶴岡市）、（10/26 酒田市）

3 成果と課題

【成果】

- ① やまがた森の感謝祭や各地域の感謝祭により、多くの県民から森づくり活動を体験していただき、森づくりの大切さについて実感してもらえた。
- ② 緑環境税の趣旨や活用事業をわかりやすく掲載した広報誌「もりしあ」を発行し、コンビニなどに置いて税の趣旨や税を活用している事業を県民に対して広く普及啓発を行った。

【課題・対応】

今後も県民への効果的な普及啓発を行なうため、常設展示場所の確保や間伐材の啓発グッズなどを活用した取り組みを進めていく。
また、市町村との連携を密にして、イベントや広報誌を通して環境税の周知を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み
【平成26年度新たな森づくりの普及啓発事業の取組み事例】

やまがた森の感謝祭と各地域の森の感謝祭



▲やまがた森の感謝祭2014 平成26年6月7日 「山形県源流の森」(飯豊町)



▲最上地域森の感謝祭
平成26年7月13日
(新庄市)



▲村山地域森の植樹祭
平成26年9月27日
(東根市)



▲庄内森と緑のフェスティバル
・平成26年10月18
～19日(鶴岡市)
・平成26年10月26日
(酒田市)

地域感謝祭 地域の特徴を活かした県民参加の森づくり活動を展開しました。

啓発物品等を活用した普及啓発・木製PR板設置



▲間伐材製品(コースター)を授産施設に製作してもらい、イベント等で配布し普及啓発に活用しました。



▲みどり環境税を活用した木製構造物に環境税のPR板を設置しました。
(大蔵村四ヶ村)

森づくりリレー旗の実施



▲森づくりリレー
県内各地の団体にリレー旗が繋がりました。

項目	新たな森づくりの推進	NO	3-3
----	------------	----	-----

事業名	森づくりサポート体制推進事業		
事業費	11,866 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

- ① 県民参加の森づくり活動を総合的に支援する。
- ② 森林ボランティア及び森林環境学習等を推進する人材を育成する。

2 事業概要

- ① 森づくりサポート体制推進事業
 (やまがた公益の森づくり支援センターに業務委託)
 - (1) 森林ボランティア団体の活動の支援業務
 - ・ 森林ボランティア団体への支援
 (安全研修会、交流研修会、森づくり活動報告会、テーマ助成団体への支援)
 - ・ 森林ボランティア団体との連携
 (ネットワーク化の支援・指導者派遣)
 - (2) やまがた絆の森づくり運動の推進業務
 - ・ やまがた絆の森づくり支援 (一般県民向け)
 (「やまがた絆の森貯金通帳」制度の運営)
 - ・ やまがた絆の森づくり支援 (企業向け)
 (候補地調査、県内外企業訪問及び情報収集、森づくり活動支援、普及啓発活動)
 - (3) 共通事項
 - ・ 森づくり指導者ステップアップ支援業務
 (ステップアップ研修会、実践研修)
 - ・ 森づくり指導者マッチング促進業務
 (要望調査、指導者の勧誘)
 - ・ 森づくりに関する情報収集及び提供 (主にHPによる)
 (活動情報、イベント情報、機材等情報、メルマガ配信、相談窓口の設置)
- ② 森づくり支援人材育成事業
 (山形県森林研究研修センター実施)
 - ・ 森林入門研修
 (森林入山に必要な基礎的知識の習得)
 - ・ 森林専門研修
 (森林案内に必要な知識や作法の習得)
 - ・ 森林実践研修
 (安全な森林整備等に必要の技能の習得)

3 成果と課題

【成果】

- ① 森づくり活動報告会の開催により森づくりの輪が広がった。
- ② 森林ボランティア団体等の活動を支援するための人材 (森づくりサポーター) を育成。(研修会の開催3回、延べ38名参加)

【課題・対応】

- ① 団体間のネットワークを構築し、相互に協力し合える体制の整備や中間支援団体の育成を図る。
- ② 森づくりサポーターの活動を支援する仕組みを構築し活動の促進を図る。

やまがた緑環境税を活用した取組み 【平成26年度森づくりサポート体制推進事業の取組事例】

森づくりサポート体制推進事業

森林ボランティア団体の活動支援



森づくり活動安全研修会



森づくり活動報告会

やまがた絆の森づくり運動の推進



企業の森づくり活動支援



パネル展示

森づくり指導者の育成



森づくり指導者ステップアップ研修会

森づくり活動に関する情報発信(HP)



やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成26年度森づくりサポート体制推進事業
(森づくり支援人材育成事業)の取組事例】

○地域コミュニティでの森林保全活動や森林環境学習を推進するための人材(森づくりサポーター)を育成する。

森づくりサポーター育成(森林入門)研修

- ◆開催日 平成26年6月28日(土) 15名参加
- ◆場所 県立自然博物園・森林研究研修センター試験実習林

○奥山林と里山林の更新方法と人のかかわりの違いを学ぶほか、森林活動におけるリスクマネジメントを実習する。



ギャップ形成から始まる奥山の天然更新



人の伐採利用から発生した里山二次林



活動事故の対処法シュミレーション

森づくりサポーター育成(森林専門)研修

- ◆開催日 平成26年8月9日(土)～10日(日) 13名参加
- ◆場所 森林研究研修センター試験実習林・幸生小友遊の森

○森林環境教育の手引きのアクティビティを実践し、森林環境学習の進め方を学ぶ。



講義「整備手法による森林環境の変化」



Act「落ち葉めぐり」



演習「森林環境教育プログラム作成」

森づくりサポーター育成(森林実践)研修

- ◆開催日 平成26年11月1日(土)～2日(日)実施 10名参加
- ◆場所 森林研究研修センター研修館・試験実習林

○森づくり活動に必要な技能、安全なチェーンソー操作技術を身につける。



チェーンソーの正しい操作



チェーンソーの点検整備



伐木実習

今年の研修コンプリートバッジ

○研修修了者には県産ヒノキ材のバッジを進呈。



緑・黄・赤・青の葉っぱがそれぞれの研修修了の証です

やまがた森づくりサポーターの活躍

○「学校林環境学習推進事業」実施をサポート!

鶴岡市在住のサポーター2名が鶴岡市立山戸小学校で実施した学校林環境学習フォローアップ授業をコーディネートしてくれました。

